

## 令和4年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ICTを活用した授業を展開したことにより、画像や動画などの視覚的な情報をもとに授業を実施することが可能になり、児童の関心・意欲を高めることができた。
- ・放課後補習、土曜補習を実施したことにより、個別指導の充実を図ることができた。

#### (2) 課題

- ・特に第5・6学年において、基礎的な計算の習得に課題がある。個別指導や、繰り返しの学習に重点を置き、当該学年までの学習内容が定着するよう継続的な指導が必要である。
- ・観点別正答率から第5・6学年は主体的に取り組む態度に課題がある。「わかる」「できる」「楽しい」と感じ、達成感を味わうことができる授業展開を検討する必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	目標値に対して△	/	/
第5学年	目標値に対して▼	目標値に対して△ (第4学年時)	/
第6学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第5学年時)	目標値に対して▼ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4学年では、目標値に対して3.2ポイント上回った。</li> <li>・「数と計算」の領域で、「分子が1の分数が何個で1になるかを理解し答える」問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4学年では、目標値に対して4.2ポイント上回った。</li> <li>・「数と計算」の領域で、「わり算の余りの処理をして正しい答えを導く」問題に若干の課題があるが、おおむね目標値を超えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4学年では、目標値に対して3.5ポイント上回った。</li> </ul>

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年では、目標値に対して6.8ポイント下回った。</li> <li>・「数と計算」の領域で、「数直線上にあらわされた分数を読み取る」問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年では、目標値に対して10.8ポイント下回った。</li> <li>・「データの活用」の領域で、「二次元表を利用する」問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年では、目標値に対して11.1ポイント下回った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6学年では、目標値に対して15.6ポイント下回った。</li> <li>・「数と計算」の領域で、「最大公約数について理解し、それを求める」問題に課題がある。</li> <li>・「図形」の領域で、「台形の面積を求める」問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6学年では、目標値に対して11.7ポイント下回った。</li> <li>・「図形」の領域で、「図に示された五角形の内角の和の求め方を選ぶ」問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6学年では、目標値に対して15.7ポイント下回った。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書や動画を使用して児童への説明を行い、式や自分の言葉で説明する活動を十分に行う。</li> <li>・タブレット端末と紙を併用し、毎回の学習内容の習得を確実にする。</li> <li>・ICTの活用と共に絵図やブロックといった具体物を活用した授業を展開し、視覚的に分かりやすい授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班やペア活動で自分の考えを表現し、説明する機会を意図的に設け協同学習を行う。（可能な範囲で振り返りコメントのできる機会を作る）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別学習を行い、児童が「分かった」「できる」「楽しい」と実感できる授業を行う。</li> <li>・ICTを活用した学習を多く取り入れ、画像や動画を使用し児童の興味・関心を高める。</li> </ul>

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書や動画を使用して児童への説明を行い、式や自分の言葉で説明する活動を十分に行う。</li> <li>・タブレット端末と紙を併用し、毎回の学習内容の習得を確実にする。</li> <li>・ICTの活用と共に絵図やブロックといった具体物を活用した授業を展開し、視覚的に分かりやすい授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班やペア活動で自分の考えを表現し、説明する機会を意図的に設け協同学習を行う。(可能な範囲で振り返りコメントのできる機会を作る)</li> <li>・児童の多様な考えをホワイトボードに書かせ黒板に掲示し、クラス全体で考えの共有を行う。</li> <li>・板書を基に、自分の考えを整理し工夫したノートづくりを行う。</li> <li>・他者とノートを見せ合う協同学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別学習を行い、児童が「分かった」「できる」「楽しい」と実感できる授業を行う。</li> <li>・ICTを活用した学習を多く取り入れ、画像や動画を使用し児童の興味・関心を高める。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書や動画を使用して児童への説明を行い、式や自分の言葉で説明する活動を十分に行う。</li> <li>・タブレット端末と紙を併用し、毎回の学習内容の習得を確実にする。</li> <li>・「数と計算」の領域では、ことばや問題の意味をとらえるため、図や文章を付記し理解する、相手に説明する活動を行う。</li> <li>・「図形」の領域では、面積の求め方や求めるのに必要な情報整理の場面を繰り返し設定し、定着につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班やペア活動で自分の考えを表現し、説明する機会を意図的に設け協同学習を行う。(可能な範囲で振り返りコメントのできる機会を作る)</li> <li>・自分の考えを式や図、言葉などで表現できるようにする。</li> <li>・「データの活用」の領域で、実際の場面を想定し、表やグラフを使用する活動を行う。</li> <li>・「図形」の領域では、実物を用いたりICTを活用したりして図形を操作しながら考えることができるような学習を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別学習を行い、児童が「分かった」「できる」「楽しい」と実感できる授業を行う。</li> <li>・ICTを活用した学習を多く取り入れ、画像や動画を使用し児童の興味・関心を高める。</li> </ul>